

参加者からの声

「ダイバーシティ理解の
重要性を実感した」

「自己理解の深化が
他者理解につながると気づいた」

「キャリアは取捨選択が鍵だと学んだ」

「時間管理と自己管理の必要を
再認識した」

「協働を通じた
リーダーシップを実感した」

2026年8月～2027年3月
全7回

研究者 リーダーシップ・プログラム

本プログラムでは、参加者が自分自身と向き合い、自己マネジメントの手法を学ぶことで、リーダーシップを高めます。また、キャリアやライフ・ワーク・バランス、職場における多様性の大切さについて、参加者が共に考えます。同じメンバーで継続してプログラムに参加することにより参加者同士のネットワークが形成されることも期待されています。

リーダーシップ

自己理解・他者理解

キャリアマネジメント

セルフマネジメント

参加対象 東海国立大学機構の研究者（性別や文系・理系の分野は問わない、特任教員、研究員を含み、学生は除く）、および、世界的課題を解決する『知の開拓者』育成事業の若手研究者

※過去に本プログラムに参加経験のある方の参加も歓迎します！

申込方法 <https://ssl.form-mailer.jp/fms/03bad976884365>

申込×切 2026年8月19日（水）

問い合わせ 名古屋大学

ジェンダーダイバーシティセンター
kyodo-sankaku@t.mail.nagoya-u.ac.jp



第1回 リーダーシップについて（対面開催）

2026年8月26日（水） 13：30 -15：30

ジェンダー・リサーチ・ライブラリ2階レクチャールーム
（名古屋大学 東山キャンパス）

束村 博子（名古屋大学 前副総長（男女共同参画・多様性担当）・
生命農学研究科 名誉教授）

参加者が自己紹介を行い、本プログラムへの参加目的、研究生活で感じている課題等について、できる範囲で共有し、お互いを知る機会とします。また、束村博子前副総長による多様性による社会の活性化についてのレクチャーの後、仲間とWin-Winの関係を保ちながら、自分の強みを生かしてリーダーシップを執るための心構えを、レクチャーとワークショップで学びます。

第2回 キャリアについて考える（zoom開催）

2026年9月2日（水） 13：30 -15：00

菊池 千草（昭和薬科大学地域医療部門 教授）
財津 桂（近畿大学生物理工学部生命情報工学科 教授）

自身はどうありたいのか？研究者としての生き方と言っても、研究の状況、研究者を取り巻く環境は様々であり、キャリアパスも千差万別です。本研修では、他の研究者の体験（自身の研究人生に影響を与えた出来事、人との出会い、ワークライフバランスに対して意識していること等）や考え方に触れ、自身のキャリアパスについて考える機会とします。

第3回 自己理解を深め、他者理解・相互理解につなげる（zoom開催）

2026年10月7日（水） 13：30 -15：00

中島 平（東北大学大学院教育学研究科 准教授）

私たちの多くが普段何げなく行っている、情報を集め判断する認知活動。しかしそのやり方には、人それぞれ違いがあることをご存知ですか？本研修は、そのような認知活動のパターンと、自分にとって自然な認知活動を知るきっかけを作り、自分本来の資質をより活かせるようになるとともに、家族や学生などと、より良好な関係性を築くための方法を探求します。

第4回 持続可能なキャリア：協働とウェルビーイング（対面開催）

2026年11月10日（火） 13：30 -15：00

ジェンダー・リサーチ・ライブラリ2階レクチャールーム
（名古屋大学 東山キャンパス）

加藤 容子（ジェンダーダイバーシティセンター 教授）

変化の激しい環境においてキャリアを持続的に形成するには、多様な人々とのチームワークの中で、自身と他者のウェルビーイングを高めながら、生き生きと活動すること（ワークエンゲイジメント）が重要となります。これらの理論を学びながら、身近で実践できることを探索します。

第5回 キャリアアップのためのアクションプラン（zoom開催）

2026年12月18日（金） 13：30 -15：00

樋口 貴子（株式会社キャリアデザイン 代表取締役）

大学研究・教育・組織運営に主体的に関わりながら、参加者それぞれが目指す姿（キャリアビジョン）を設定し、それを具現化するための自分らしいリーダーシップのあり方とアクションプランについて、参加者との対話を通じて整理します。

第6回 研究者にとってのタイムマネジメント（zoom開催）

2027年1月13日（水） 13：30 -15：00

福島 清誠（日本マネジメント協会（中部））

効率的な働き方を考え、タイムマネジメントを意識的に実践することは、研究時間を確保し、ワークライフバランスを保つために不可欠な視点です。本研修では、仕事の時間管理の基本的な手法を学び、今後の仕事への取り組み方や意欲の向上につなげる機会とします。

第7回 プログラムを振り返って（対面開催）

2027年3月2日（火） 13：30 -15：00

ジェンダー・リサーチ・ライブラリ2階レクチャールーム
（名古屋大学 東山キャンパス）

本プログラムに参加することで考えたこと、試してみたこと、得られた気づきなどを共有する回とします。この半年間の自身の活動を振り返ると共に、他の参加者の考えや活動からも学ぶ機会とします。また、理想とするキャリア、ライフ・ワーク・バランスと現在の状況・環境について、参加者が感じている問題を共有し、共に解決策について議論し、研究者としての生き方・あり方について共に考えます。

ファシリテーター

加藤 容子（ジェンダーダイバーシティセンター 教授）
左高 慎也（ジェンダーダイバーシティセンター 特任助教）
熊坂 真由子（学術研究・産学官連携推進本部
研究支援・人材育成部門 URA）

- ・参加メンバーは、できるだけ多くの回にご参加ください。
- ・本プログラムの開催中に1回、短い「参加レポート」（A4用紙1枚以内）をご提出いただきます。「参加レポート」の一部は下記のウェブサイト「活動報告」として掲載されます（匿名可）。
<https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/leader/>
- ・プログラム修了者には、本プログラム受講を証明する「修了証」を授与します。「修了証」は、プロモーションの際のアピール等にご活用ください。「修了証」授与の要件は、全研修のうち3回以上の参加と「参加レポート」の提出になります。
- ・文部科学省に提出する報告書作成の際、参加者の研究業績（論文数や外部資金獲得件数等）を提出いただきます。

募集人数：約40名。全7回のうち3回以上に出席できる方。原則として先着順です。1～2回のみの参加も受け付けますが、希望者が多い場合には出席可能回数が多い方を優先します。

※本事業は、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」（令和5年度採択）及び「世界的課題を解決する知の『開拓者』育成事業（T-GEx）」（令和3年度採択）の一環として実施します。「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」では、女性研究者が、大学の研究・教育・組織運営に主体的に関わり、意思決定を行うため、大学の上位職を目指すにあたり必要な情報・資質・スキルについて学ぶ機会の提供とします。「世界的課題を解決する知の『開拓者』育成事業」は、異なる領域の知と経験を縦横につなぎ、新たな課題に常に挑戦し、チームを牽引して世界的問題解決を実現する人材を育成するプログラムです。